

## 第V編 公園

第 1 章 公園植栽工 .....	1037
-------------------	------

## 第 1 章 公園植栽工

1)	公園植栽工	1038
2)	公園除草工	1048
3)	公園工	1054

1) 公園植栽工

1. 適用範囲

1-1 適用範囲

公園の植栽作業及び移植作業に適用する。  
 なお、高木とは樹高 3m 以上、中低木とは樹高 3m 未満とする。

1-2 植栽工事の割増積算

新植樹木等の植栽割増として、下記の費用を加算する。ただし、移植及び根廻し工事に係わるものは除く。  
 割増経費 = 「材料費 + 労務費 + 機械経費」 × 0.5%

2. 施工歩掛

2-1 植栽工

1) 植栽

植栽は現場内小運搬（100m 以内）等を含む、配植、植穴掘、植付、埋戻し、養生までの作業を行うもので施工歩掛は、次表を標準とする。なお、中低木は別途積算する。

2.1 植栽歩掛表 (100 本当たり)

形状寸法 (cm)	名称 (人)			機械運転時間 (h) トラック クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊	運転日数 (日)		
	世話役	造園工	普通作業員		小型バックホウ 排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.13m <sup>3</sup> (平積 0.1m <sup>3</sup> )	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	
高木	(幹周) 15 未満	3.2	16.1	9.6	—	—	—
	15 以上 25 "	5.4	27.4	16.3	—	—	
	25 " 40 "	5.0	23.0	14.0 (55.0)	47.0	2.1 (—)	
	40 " 60 "	10.0	44.0	26.0 (87.0)	57.0	4.8 (—)	
	60 " 90 "	16.0	74.0	45.0 (190.0)	—	10.5 (—)	

- (注) 1. 高木の幹周 25cm 以上は、機械施工を標準とする。ただし、小型バックホウを使用出来ない場合は ( ) の数値を採用する。  
 2. 幹周は、地際より高さ 1.2m の周囲長とする。なお、幹が枝分かれ (株立樹木) している場合の幹周は各々の総和の 70% とする。  
 3. 樹木の現場着後の歩掛とする。  
 4. 残土を植栽付近に敷均しする歩掛、また残土として運搬車へ積込む歩掛は上表に含む。それ以外の残土処分が必要な場合は別途計上する。また、運搬歩掛は含まない。  
 5. 支柱設置歩掛は含まない。  
 6. 標準的植穴掘以外の施工は別途考慮する。  
 7. 現場条件により上表により難しい場合は別途考慮する。  
 8. トラッククレーンは、賃料とする。  
 9. 本表は根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふるい根の場合は別途計上できるものとする。  
 10. 本歩掛の埋戻し作業には、肥料、土壌改良剤を混合する場合も含まれる。

2-1-2 支柱設置

支柱設置は建込み、結束からなり、支柱形式別、支柱材料及び歩掛は、次表を標準とする。

表 2.2 支柱材料及び設置歩掛

名称	形状寸法	単位	植樹 100 本当り							
			二脚鳥居支柱 (添木付)	二脚鳥居支柱 (添木なし)	三脚鳥居支柱	十字鳥居支柱	二脚鳥居 組合せ	ハッ掛 (三脚) (竹)	ハッ掛 (丸太) L=4m	ハッ掛 (丸太) L=6~7m
適用範囲	高木(幹周)	cm	30 未満	20 以上 30 未満	30 以上 60 未満	30 以上 60 未満	40 以上 75 未満	20 未満	20 以上 35 未満	30 以上 75 未満
世話役		人	1.8	1.3	1.8	2.7	3.6	1.3	2.0	3.1
造園工		"	10.2	7.7	10.2	15.3	20.4	7.4	11.1	17.6
普通作業員		"	5.9	4.4	5.9	8.9	11.8	4.3	6.4	10.2
杉丸太	長 0.6m×末口 6cm	本	100	100					300	300
"	" 0.6 × " 7.5	"			100					
"	" 0.75× " 7.5	"				200	400			
"	" 1.8 × " 6	"	200	200						
"	" 1.8 × " 7.5	"			300	200				
"	" 2.1 × " 7.5	"				200	400			
"	" 4.0 × " 6	"							300	
"	" 6.3 × 中径 6	"								300
杉梢丸太	" 4.0 × 末口 3	"	100							
竹	末口 2.5cm	"						注(3)		
諸雑費率		%	3	3	3	3	2	4	3	3

- (注) 1. 諸雑費は杉皮、しゅろ縄、洋釘、鉄線等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。
2. 適用範囲外の支柱を用いる場合、また、現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。
3. 竹は必要量を計上する。

2-2 移植工

移植工は、掘取、運搬、植栽からなる。

2-2-1 掘取

掘取は、人力又は小型バックホウによる床掘り、掘下げ、クレーンによる吊上げ及び養生、根巻、埋戻しであり施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.3 掘取歩掛表 (100 本当り)

形状寸法 (cm)	名称(人)			機械運転時間(h) トラック クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊	運転日数(日)		諸雑費率 (%)
	世話役	造園工	普通作業員		小型バックホウ 排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積 0.13m3 (平積 0.1m3)	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	
中低木 (樹高) 50 未満 50 以上 100 〃 100 以上 200 〃 200 〃 300 〃	0.3 (0.2)	2.0 (1.6)	1.6 (1.6)	-	-	-	-
	0.4 (0.3)	2.9 (2.4)	2.3 (2.3)				
	0.7 (0.6)	5.4 (4.5)	4.5 (4.5)				
	1.7 (1.4)	13.0 (10.0)	11.4 (11.4)				
高木 (幹周) 15 未満 15 以上 25 未満 25 〃 40 〃 40 〃 60 〃 60 〃 90 〃	2.0 (1.7)	10.3 (8.5)	6.1 (6.1)	-	-	-	4 (0)
	4.4 (3.6)	22.1 (18.3)	13.2 (13.2)				5 (0)
	7.0 (6.0)	36.0 (31.0)	13.0 (13.0)				6 (0)
	10.0 (9.0)	55.0 (49.0)	21.0 (21.0)				5 (0)
	17.0 (14.0)	88.0 (78.0)	34.0 (34.0)				5 (0)

表 2.4 幹巻歩掛 (100 本当り)

形状寸法・幹周 (cm)	名称(人)			諸雑費率 (%)
	世話役	造園工	普通作業員	
25 以上 40 未満	1.1	4.9	1.9	15
40 〃 60 〃	2.0	8.7	3.4	17
60 〃 90 〃	3.2	14.2	5.5	20

- (注) 1. 表 2.3 の ( ) 外の数値は根巻を行う場合の歩掛であり、( ) 内の数値は、根巻を行わない場合の歩掛である。
2. 幹巻が必要な場合は、上表の<幹巻歩掛>の歩掛を計上する。
3. あらかじめ根切りを行い、埋戻ししておき、後日移植する場合は別途積算する。
4. 幹周は、地際より 1.2m の幹の周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の 70%とする。
5. 高木の幹周 25cm 以上は、機械施工を標準とする。
6. 高木の幹周 25cm 以上は、積込み、卸し時間を含む。
7. 掘取後の残土は、埋戻しとして含むが不足土量に係る費用が必要な場合は別途計上する。
8. 現場条件により上表により難しい場合は別途考慮する。
9. トラッククレーンは、賃料とする。
10. 本表は根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふるい根の場合は別途計上できるものとする。
11. 諸雑費は、根巻(こも・わらなわ)幹巻(わら・しゅろ縄)の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。ただし、緑化テープを使用する場合は、別途考慮する。
12. 上表は、新規植栽する場合にも適用出来る。
13. 掘取歩掛には、100m 程度の現場内小運搬を含む。

2-2-2 運搬

樹木運搬は、4～4.5t 積トラック又は、4t 積 2.9t 吊クレーン装置付トラックによるものとし、運搬歩掛は、次表を標準とする。

表 2.5 運搬歩掛 (100 本当り)

形状寸法 (cm)		運搬機械	積載量 (本)	運搬距離 5km までの運搬時間 (h)	5km を超え 5km 増す毎に加算する運搬時間 (h)
中低木	(樹高) 50 未満	トラック 4～4.5t 積	110	6.6	0.5
	50 以上 100 "		50	9.4	1.0
	100 " 200 "		45	11.7	1.1
	200 " 300 "		45	15.0	1.1
高木	(幹周) 15 未満	トラック 4～4.5t 積	20	21.3	2.4
	15 以上 25 未満		13.3	29.4	3.8
	25 " 40 "	クレーン付トラック 4t 積 2.9t 吊り	7.7	8.7	8.7
	40 " 60 "		2.5	20.5	20.5
	60 " 90 "		1.0	49.0	49.0

(注) 1. 運搬距離が 5km を超える場合は、超えた距離 5km までごとに右の欄の値を、左の欄の値へ加算する。

2. 高木の幹周 25cm 未満については積込み、卸し時間を含み、幹周 25cm 以上は積込み、卸し時間を含まない。

2-2-3 植栽工

施工歩掛は、2-1 植栽工 表 2.1 植栽歩掛を適用する。

2-3 地被類植付工

2-3-1 張芝工

張芝は、地拵え、植付、目土かけ、小運搬等の作業を行うもので、施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.6 張芝工歩掛 (100m2 当り)

名称	単位	数量	
世話役	人	0.2	
造園工	"	1.1	
普通作業員	"	2.3	
目土使用量	m3	2.7	
芝	ベタ張	m2	100
	目地張	"	必要量を計上
諸雑費率	%	5	

(注) 1. 上表はベタ張、目地張に適用する。

2. 芝申を必要とする場合のみ、労務費の合計に上表の諸雑費率を計上する。

3. 現場条件により上表により難しい場合は別途考慮する。

## 3. 単価表

## (1) 高木植栽 100 本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表 2.1
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
樹木	幹周〇〇cm	本	100	樹種名を記入
改良材		kg		必要量を計上
支柱		本		(2) 支柱単価表による
トラック運転	クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊	h		表 2.1 高木幹周 25cm 以上 60cm 未満に計上
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		表 2.1 高木幹周 60cm 以上に計上
小型バックホウ運転	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.13m <sup>3</sup> (積 0.1m <sup>3</sup> )	〃		表 2.1 高木幹周 25cm 以上に計上
諸雑費		式	1	
計				

## (2) 支柱(支柱形式)設置 100 本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表 2.2
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
杉丸太	〇〇cm, 〇〇cm	本		〃
〃	〇〇cm, 〇〇cm	〃		〃
杉梢丸太	〇〇cm, 〇〇cm	〃		〃
〃	〇〇cm, 〇〇cm	〃		〃
竹	〇〇cm, 〇〇cm	〃		〃
〃	〇〇cm, 〇〇cm	〃		〃
諸雑費		式	1	〃
計				

## (3) 掘取 100 本当りの単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表 2.3
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
トラック運転	クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊	h		表 2.3 高木幹周 25cm 以上 60cm 未満に計上
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日		表 2.3 高木幹周 60cm 以上に計上
小型バックホウ運転	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.13m <sup>3</sup> (積 0.1m <sup>3</sup> )	〃		表 2.3 高木幹周 25cm 以上に計上
諸雑費		式	1	表 2.3
計				

## (4) 幹巻 100 本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表 2.4
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
諸雑費		式	1	〃
計				

## (5) 運搬工 (中低木・高木) 100 本当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
トラック運転	4t～4.5t 吊	h		表 2.5 中低木及び 高木の幹周 25cm 未満, 60cm 以上 90cm 未満に計上
トラック運転	クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊	h		表 2.5 高木幹周 25cm 以上 60cm 未満に計上
諸雑費		式	1	
計				

## (6) 芝 100m2 当り植付単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表 2.6
造園工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
芝		m2		芝名を記入する
目土		m3	2.7	目地張の場合の数量は必要量とする
諸雑費		式	1	表 2.6
計				

## (7) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表
トラック	4～4.5t 積	機-6
〃	クレーン装置付 4t 積 2.9t 吊	機-1

## (8) バックホウ運転 1 日当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
特殊運転手		人	運転 1h 労務歩掛×T	建設機械運転労務による。
燃料費		L	運転 1h 燃料消費量×T	原動機燃料消費量による。
機械損料	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.13m3 (平積 0.1m3)	日	1	
諸雑費		式	1	
計				

- (注) 1. バックホウの供用日当り標準運転時間 (t) は、3.9h/日とする。  
2. バックホウの運転日当り標準運転時間 (T) は、5.6h/日とする。



## 4. 参考資料

## 4-1 鉢容量及び植穴容量

表 4.1(1) 鉢容量及び植穴容量

形状	幹周 (cm)	鉢径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢容量 (m3)	鉢穴容量 (m3)
高木	10 未満	33	25	69	37	0.017	0.09
	10 以上 15 "	38	28	75	40	0.028	0.14
	15 " 20 "	47	33	87	46	0.061	0.27
	20 " 25 "	57	39	99	53	0.11	0.44
	25 " 30 "	66	45	111	59	0.17	0.65
	30 " 35 "	71	48	117	62	0.21	0.76
	35 " 45 "	90	59	141	75	0.4	1.34
	45 " 60 "	113	74	171	90	0.74	2.28
	60 " 75 "	141	91	207	109	1.32	3.7
	75 " 90 "	170	108	243	128	2.08	5.45

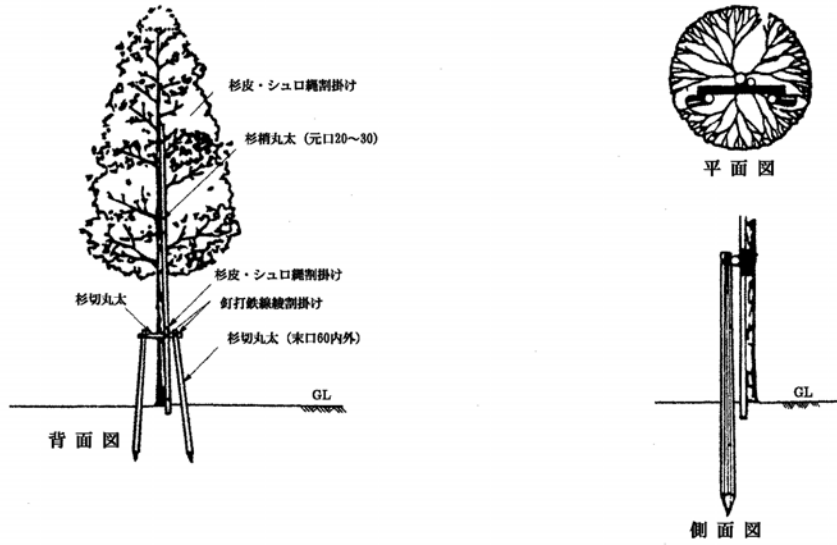
表 4.1(2) 鉢容量及び植穴容量

形状	樹高 (cm)	鉢径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植穴径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢容量 (m3)	鉢穴容量 (m3)
中低木	30 未満	15	8	29	23	0.001	0.015
	30 以上 50 未満	17	10	33	26	0.002	0.022
	50 " 80 "	20	12	37	28	0.004	0.030
	80 " 100 "	22	13	41	31	0.005	0.040
	100 " 150 "	26	16	46	35	0.008	0.057
	150 " 200 "	30	19	54	40	0.013	0.090
	200 " 250 "	35	23	61	46	0.022	0.133
	250 " 300 "	40	26	69	51	0.032	0.188

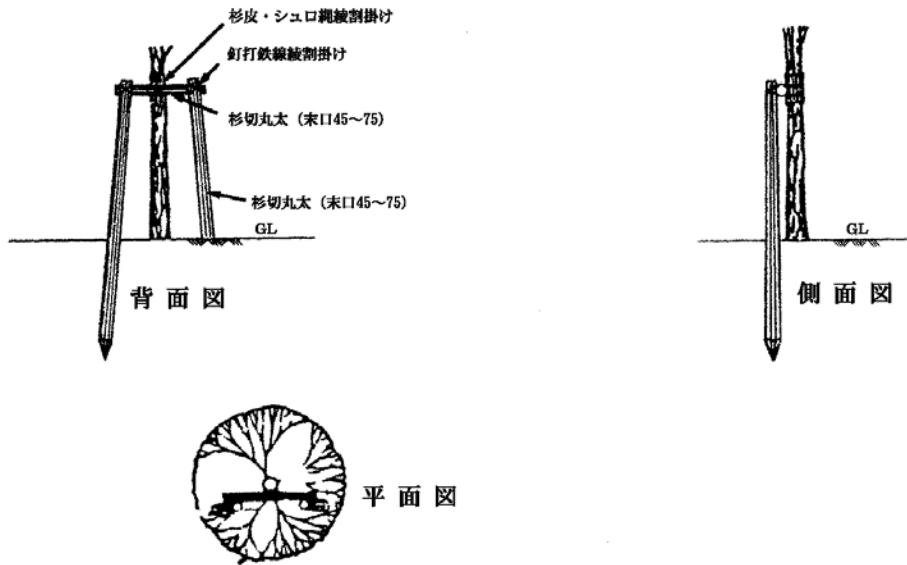
(注) (埋戻不足土量) = (鉢容量)

5. 支柱形式参考図

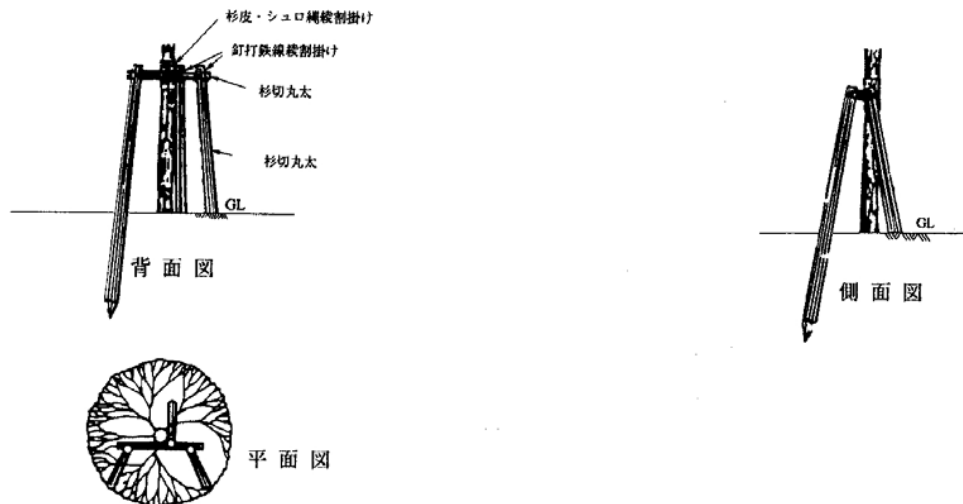
① 二脚鳥居支柱 (添木付)



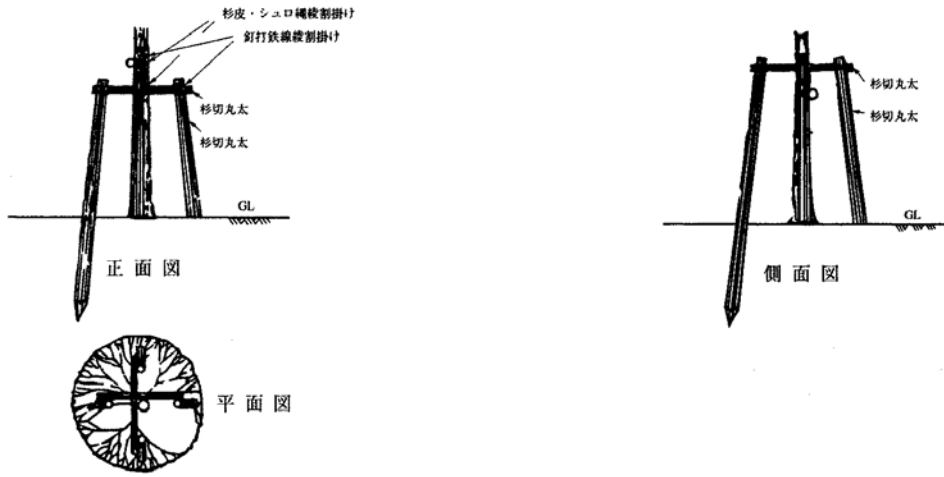
② 二脚鳥居支柱 (添木なし)



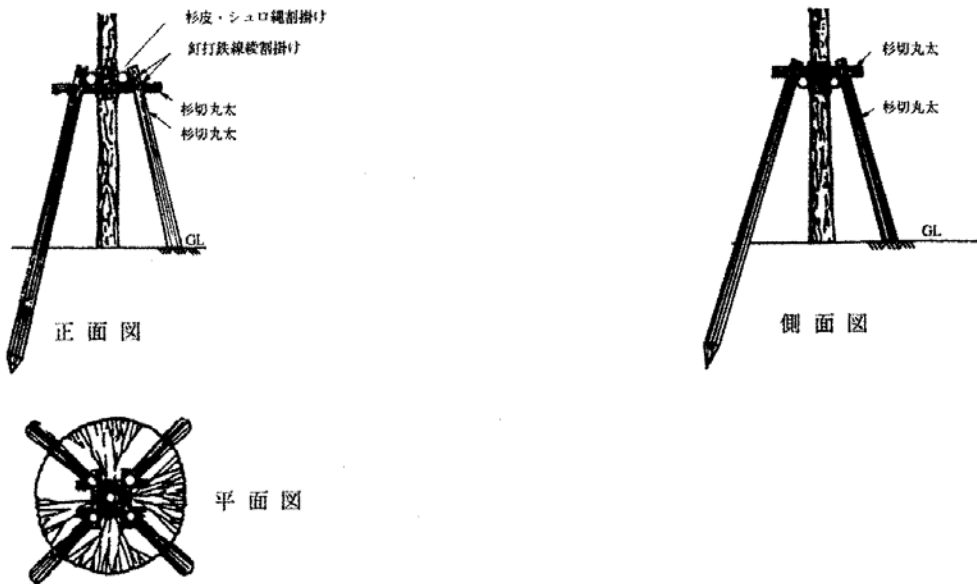
③ 三脚鳥居支柱



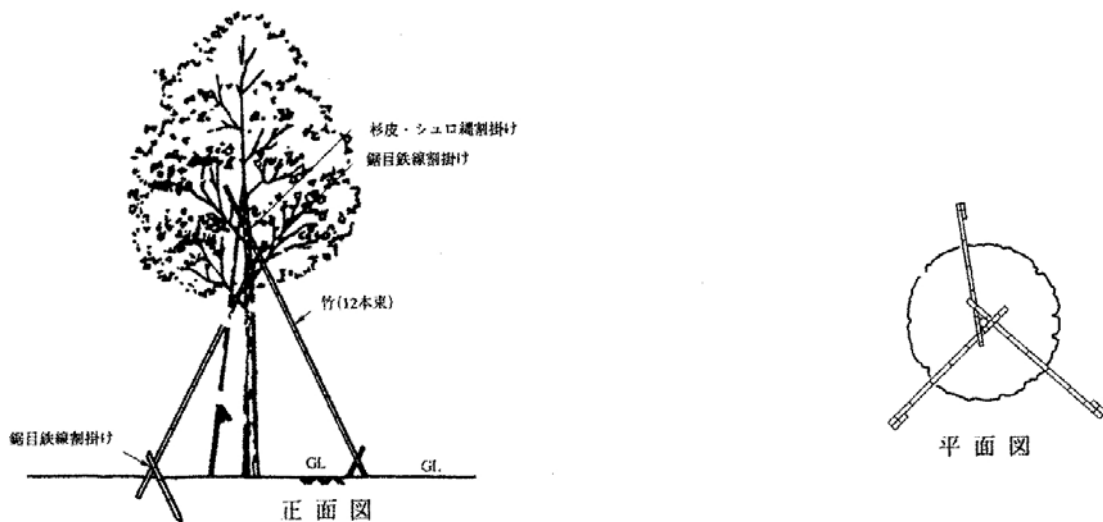
④ 十字鳥居支柱



⑤ 二脚鳥居組合せ四脚支柱



⑥ ハッ掛(三脚)(竹)竹三本支柱



- ⑦ハツ掛 (三脚) (丸太) L=4m
- ハツ掛 (三脚) (丸太) L=6m ~ 7m
- 丸太三本支柱

